

コンビネーション303号

コンビネーションこそチェスの真髄

函館チェスサークル・インターネット通信

2015年 8月28日発行

oooooooooooooooooooooooooooo

ラピッド大会9月5日(土)!

oooooooooooooooooooooooooooo

ピンング

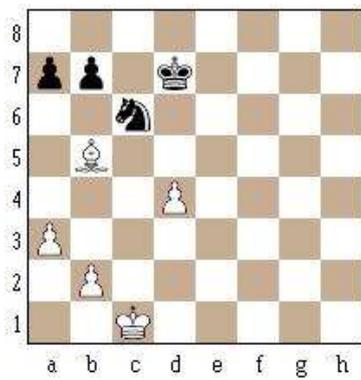
oooooooooooooooooooooooooooo

フォーク(両取り)、ディスカバード・アタックと、チェスの基本テクニックを学んできました。今回はピンング(または単にピンという)です。

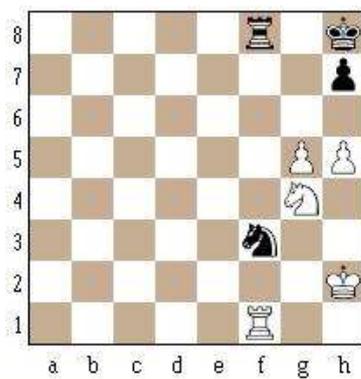
この3種類の手筋は実戦で必ず(?)使われます。手筋の組み合わせをコンビネーションといいます。元世界王者アレヒンは「コンビネーションこそチェスの真髄(しんずい)」と言いました。

Combination is the heart of chess!

例題1 白番



例題2 白番



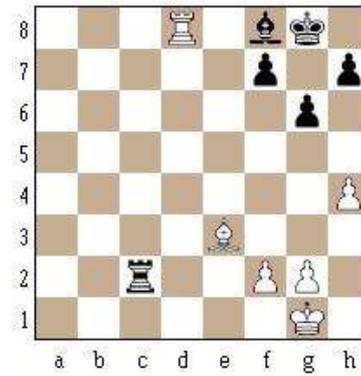
例題1は白d5で黒ナイトをポーンで取ること

ができます。ナイトが白ビショップでピン(釘づけ)されていることがわかりますか?

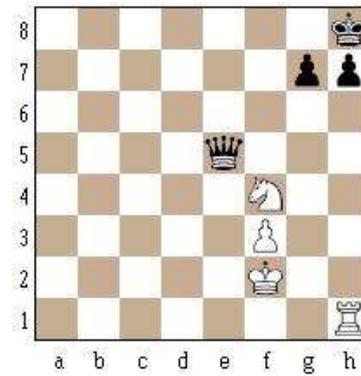
例題2は白Kg3が好手です。チェックから逃げるだけでなく、攻撃も考えています。今度はナイトが白ルークでピンされています。

では練習です。以下、すべて白番、ピンチを救う逆転ワザがあります。自分の頭で考えてみる、それがチカラになりますよ!

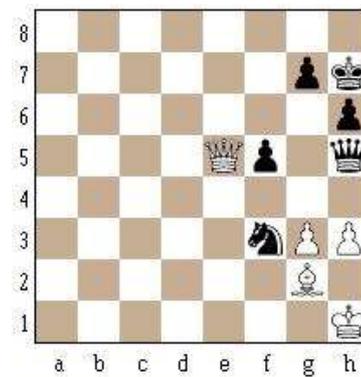
問題1 白番



問題2 白番



問題3 白番



新レイティング、新レートは次週に発表します。